

## 2008年（平成20年）度 第1回常務理事会記録

日時：2008年（平成20年）2月9日（土）15:30~18:15

場所：東京大学医学部教育研究棟2階 第3セミナー室

出席者：柴田洋三郎（理事長）、牛木辰男、内山安男、岡部繁男、藤本豊士（以上、常務理事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、川村知子（以上、口腔保健協会）

### I. 会議記録の確認

2007年（平成19年）度第6回常務理事会記録、同摘録（案）

2007年（平成19年）度第5回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

（1）会員異動報告（正会員 2,095名、平成20年1月31日現在）

平成19年12月分（入会者 学生1名、退会者 正会員76名、学生12名）

平成20年1月分（入会者 正会員18名、学生37名、退会者 正会員23名、学生4名）

逝去会員：田沼 裕氏（帝京大学／正会員）平成19年9月3日逝去（享年57歳）、平本嘉助氏（北里大学医療衛生学部／正会員）平成19年10月15日逝去（享年59歳）、橋本 巖氏（鶴見大学名誉教授／名誉会員）平成20年2月4日逝去（享年79歳）

（2）会費納入状況（長期未納者の除名について）

4年および3年未納者のリストが提示され、4年未納者については学術集会時に掲示後、退会処分とすることが報告された。

（3）学会宛文書等

①通知・依頼 日本医学会より「第75回日本医学会定例評議員会開催について」他15箇所19件の通知・依頼が届いている。

②書籍、定期通信他 日本医学会より「第132回日本医学会シンポジウム わが国の臓器移植」(DVD) 他6件の書籍、定期通信等が届いている。

（4）次期日本医学会会長・副会長・幹事の推薦

会長・副会長候補者には現職の4名（会長：高久史麿自治医大学長、副会長：（基礎）岸本忠三 大阪大学大学院教授、（社会）久道 茂 宮城県対がん協会会長、（臨床）出月康夫 南千住病院名誉院長）を、幹事候補者には清水孝雄 東京大学大学院医学研究科長を推薦したことが報告された。

（5）各種委員会報告

編集委員会（藤本豊士委員長）、解剖組織技術士資格審査委員会（年森清隆委員長）解剖学用語委員会（坂井建雄委員長）、倫理委員会（井出千束委員長）よりの報告

書が紹介された。

- (6) 平成 20 年度総会・学術評議員会の案内および書面表決書について  
標記の案が提示され、総会書面表決書については事務局で案を練り直し、メールによる審議をおこなうことになったが、その他の項目は了承された。
- (7) 平成 20 年度総会・学術評議員会資料作成について  
標記の案が提示され、承認された。
- (8) 名簿の作成について  
1 月 25 日開催の名簿作成ワーキンググループの検討結果をもとに審議、承認された。
- (9) 公益法人改革について  
今後の対応についての検討がおこなわれ、定款の改訂も必要であるので、小委員会を作って準備にあたることになった。
- (10) ホルマリン規制について  
特定化学物質障害予防規則等が改正され平成 20 年 3 月 1 日から施行・適用されることになった（一部は 1 年間の猶予あり）。それによるとホルムアルデヒドは特定化学物質の第 3 類から特定第 2 類に変更され、様々な規制がかなり厳しくなっている。総会時にアナウンスをおこなうが、各大学による対応が必要である。なお、障害予防規則等の改正の詳細については、厚生労働省のホームページを参照されたい。

## 2. 編集報告（藤本編集担当理事）

- (1) ASI について  
平成 20 年 12 月 31 日で契約の終了するブラックウェルとの契約の更新について、および投稿論文数増加への対応について報告がおこなわれた。

## 3. 企画・渉外報告（内山企画・渉外担当理事）

- (1) 平成 19 年度日本解剖学会奨励賞（この項は牛木理事よりの報告）  
選考委員会における選考結果、理事会への上申事項、次期選考委員会への申し送り事項などについて報告がなされた。
- (2) 平成 19 年度日本解剖学会解剖組織技術士功労賞  
一名の候補者について理事会に諮ることが決定された。
- (3) 第 113 回日本解剖学会全国学術集会 肉眼解剖学トラベルアワード（献体学術賞）  
について  
1 2 月末まで募集をおこなった結果、9 件の応募があり、現在選考中であることが報告された。
- (4) 2008(平成 20)年度総会・全国学術集会準備状況報告  
標記総会・全国学術集会の藤倉義久会頭、加藤征治副会頭よりの報告書をもとに、準備状況の説明がなされた。

(5) 2011(平成 23)年度総会・全国学術集会開催校について

順天堂大学が当番校となり、生理学会との共催となることが報告された。

(6) 第 5 回 APICA 開催の周知について

2008 年 5 月にイランにおいて開催される第 5 回 APICA の演題締め切りが、2 月 22 日まで延長されたことを、解剖学会 HP および支部長を通して会員への周知を図ったことが報告された。

4. 会計報告 (牛木会計担当理事)

(1) 支部学術集会収支報告

東北・北海道連合支部学術集会他、6 支部の学術集会の収支について報告がおこなわれた。

(2) 平成 19 年度決算書概要 (案)

資料をもとに平成 19 年度決算の概要が報告された。なお、それに関連して和文誌の発行費用が相対的に高いこと、およびその対応策についての報告がおこなわれた。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認

資料をもとに審議がおこなわれ、全件承認された。

2. 申請による学術評議員審査結果

メールによる理事の投票の結果、申請のあった 5 件中 4 件が過半数の得票を得、総会に上程されることになった。

3. 平成 20 年度事業計画 (案)

標記 (案) が提示され、承認された。

4. 平成 20 年度予算書 (案)

標記 (案) が提示され、一部修正ののち承認された。

5. 永年会員の推薦

対象者一覧が提示され、一部不明の点を明確にした上で、理事会に上程することが承認された。

6. 全国学術集会の学術プログラムの企画・運営と学術委員会 (専門委員会) についての申し合わせ (案) について

学術委員会から提案のあった、全国学術集会における学術プログラムの企画・運営に、学術委員会が積極的に関与することについて審議がおこなわれ、承認されるとともに解剖学会の「申し合わせ事項」とすることが決定された。

7. 平成 20 年度奨励賞選考委員会について

標記委員会の担当理事を企画・渉外担当理事に戻し、新委員構成についての原案を内山理事が作成、メールによる審議をおこなうことが決定された。

8. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

標記について資料をもとに審議がおこなわれ承認された。

#### 9. その他

- (1) 3月の全国学術集会に出席する欧州 *Anatomische Gesellschaft* の Vogt 理事長への学術集会中の対応について打ち合わせがおこなわれた。
- (2) 4月より順天堂大学との兼任が決まった内山常務理事の処遇について話し合いがもたれた。
- (3) 整形外科関連学会からの献体者の新鮮遺体を使っての手術シミュレーションの示説に関する解剖学会の見解についての問い合わせがあった。これに対しては、昨年の解剖学会総会での倫理委員会報告に基づき、実施は各大学の判断でおこなって頂きたいとの返答をすることになった。